

## 野外活動指導者養成講座実施報告書

【趣 旨】 青少年団体指導者及び野外活動に関心を持つ青年などが、野外活動に必要な知識・技術について研修し、指導力・実践力の向上を図る。  
※法人ボランティア養成カリキュラムを兼ねる。

【主 催】 独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立江田島青少年交流の家

【期 日】 第1回 平成21年5月 9日(土)～10日(日)  
第2回 平成21年5月30日(土)～31日(日)  
第3回 平成21年6月19日(金)～21日(日)

【実施会場】 国立江田島青少年交流の家

【対 象】 青少年団体指導者、野外活動に関心がある青年等

【参加人数】 1回目 33人 2回目 36人 3回目 32人

【講 師】 社団法人日本キャンプ協会 キャンプディレクター1級 井ノ本 瑞恵  
社団法人日本キャンプ協会 キャンプディレクター1級 鍋島 一仁  
広島大学大学院教育学研究科 教授 林 孝  
江田島市消防本部江田島消防署 救急救命士 職員  
国立江田島青少年交流の家 企画指導専門職

### 【企画・運営のポイント】

- (1) 野外活動について、より専門的な知識・技術を得られる研修になるよう講師を選定し、知識として学んだことを実施する場を確保するため、講義と実習をセットにした流れを取り入れた。
- (2) ボランティアの意義についての理解を深めるため、参加したボランティアスタッフから体験談や思いを聞く時間を設けた。
- (3) 広島大学、広島女学院大学と連携して事業の企画・広報を行った。

### 【活動の実際】



あたたかい雰囲気作り  
「アイスブレイク入門」



野外活動の意義などについての講義  
「野外活動の意義・青少年教育の理解」



グループ毎に夕食作り

「野外炊事法・野外炊事演習」



協力することの大切さを体験

「カッター研修」



自然と様々な感覚を使ってふれあう

「環境教育プログラム演習」



心肺蘇生法, AEDの実習

「救急救命法」



キャンプファイヤーの意義などについての講義

「キャンプファイヤー技術」



参加者によるキャンプファイヤー

「キャンプファイヤー演習」



職員によるボランティアについての講義

「ボランティア活動の意義」



キャンプの企画の参考になる活動紹介

「キャンプの企画・運営・評価」



自分たちで泊まるテントを建てる参加者

「キャンプ用具の使用法とテント技術」



どんなキャンプ（目的）にするか考える参加者

「キャンプの企画とは」



目的にあったプログラムを考える参加者

「キャンプの企画①②」

## 【成果と課題】

### (成果)

- (1) 理論・経験とも豊富な外部講師を招き、3回のべ7日間計38.5時間に及ぶ質・量とも充実した研修を行うことができ、事後アンケートの自由記述で「野外活動に必要な知識や技能を身につけることができた」など、32名中24名が具体的な成果を記述していた。
- (2) 参加者のうち5名が法人ボランティアとして登録し、4名がその後の事業に携わった。

### (課題)

受講者が身につけた力を実践の場で活かす機会を増やし、指導者として活躍できるようなシステムを構築する必要がある。